資源と経済をぐるぐる回す。

主 催：（一社）京都府産業廃棄物３Ｒ支援センター

サーキュラーエコノミーの推進に向けた動・静脈産業連携のあり方

サーキュラーエコノミー（循環経済）とは、廃棄物をできるだけ削減し、資源を効率的に循環させながら、持続可能な社会の構築と経済成長を同時に実現する新しい経済システムです。

本セミナーでは、サーキュラーエコノミーの推進に向けて、動・静脈産業それぞれが果たすべき役割や連携のあり方について探ります。

令和８年 12 月 15 日（火）

13:30～15:10（受付開始 13:00）

■ 会場：福知山市企業交流プラザ ＜講堂＞
［長田野工業センター内］
アクセス http://osadano.or.jp/access.html
（京都府福知山市長田野町3-1-1）

■ 定員：80名（事前申込制、先着順）

参加費 無料

プログラム

13:30～14:15



三ツ松 昭彦 氏 (株)島津製作所 環境経営統括室グループ長

「サプライヤーと連携した資源循環の取組について」

廃棄物の共同回収事例や自社リサイクル製品の利用事例など(株)島津製作所の取組を紹介します。

14:20～15:05



井上 敬治 氏 (株)京都環境保全公社 代表取締役

「静脈産業からみた動脈産業との連携の進め方について」

廃棄物削減に向けて、排出事業者との協力体制の構築事例など(株)京都環境保全公社の取組を紹介します。

※当日は、当センターのサステナビリティアドバイザーによる相談コーナーを設けています。

お申し込み先

当センターのメール **info@kyoto-3rbiz.org** あて
企業名、お名前、連絡先メールアドレスをお送りください。

共 催： （公社）京都府産業資源循環協会、（一社）長田野工業センター
後 援： （公財）京都産業21
協 力： 京都府中丹西保健所・中丹東保健所・丹後保健所